

マンションの耐震性能は

建物の耐震性能は、建物の強さと粘りに、建物形状と経年状況を考慮して評価されます。鉄筋コンクリート造建物等の耐震性能は、 I_s 値（構造耐震指標）という指標で表され、値が大きいほど耐震性が高くなります。

住まいの安心を確保するため、また、安全確保の対策のため、耐震診断により耐震性能を把握しましょう。

建物の強さ

地震に対する強度はどうか

建物の粘り

地震による変形に強いのか

建物形状

地震力が集中する場所はないか

経年状況

柱・壁などの劣化具合はどうか

耐震診断

I_s 値 ≥ 0.6 ※

地震動に対して必要な耐震性を確保している。

I_s 値	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性
I_s 値が0.3未満の場合	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
I_s 値が0.3以上 0.6未満の場合	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
I_s 値が0.6以上の場合	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※第二次・三次診断で I_s 値 ≥ 0.6 を判定の基準とし、第一次診断では I_s 値 ≥ 0.8 を判定の基準とします。

耐震診断の手順・内容

耐震診断は、現地調査（予備調査）で建物等の概況を把握したうえで、外観、履歴、設計図書等の内容を確認し、構造の耐震性の検討・評価を行い、耐震補強案及び概算工事費等を検討します。

予備調査		現地での目視調査、設計図書の内容の確認、建物修繕履歴等を確認し、詳細診断の必要性の有無を判断	簡易
詳細診断	第一次診断	・壁の多い建築物が対象 ・柱・壁の断面積から構造耐震指標を評価	↑ ↓
	第二次診断	・主に柱・壁の破壊で耐震性能が決まる建築物 ・柱・壁の断面積に加え、鉄筋の影響も考慮し、構造耐震性能を評価	
	第三次診断	・主に梁の破壊や壁の回転で耐震性能が決まる建築物 ・柱・壁（断面積・鉄筋）に加えて、梁の影響を考慮し、構造耐震指標を評価	

耐震診断の費用

耐震診断の費用は、診断の内容、建物の規模、構造などによって異なります。また、設計図書の有無等によっても大きく異なりますので、見積もりを取ることをお勧めします。

耐震診断費用の目安は、おおむね500円/㎡～2,000円/㎡程度です。